FCF

FCF 推進フォーラム

使い易く安心なIDカードが顧客サービスを変える

２０１８年 ６月

一般社団法人　FCF推進フォーラム

Copyright (c)2018 一般社団法人FCF推進フォーラム, All rights reserved

FCF推進フォーラム概要

FCF

■ 名　称：一般社団法人FCF推進フォーラム

FCF ： Felicitous Common use Format ＝ 共通利用フォーマット

■ 目　的：

●FCF（ 共通利用フォーマット ）を活用した 非接触ICカードの普及

●各会員のビジネス活性化

●顧客（ カードオーナー ）へのサービス向上

■ 事務局：FCF推進フォーラム事務局　（ E-mail： office@fcf.jp ）

●Webサイト：http://www.fcf.jp/

●会員数：　１５５社　（２０１８年 ６月現在）

Copyright (c)2018 一般社団法人FCF推進フォーラム, All rights reserved

共通フォーマットの普及と運用管理

FCF

FeliCaカード
発券ベンダ

カードソリューション
提供ベンダ

サービスソリューション
提供ベンダ

FCF推進フォーラム

- 基本情報の規定コード（利用者区分コード、学校識別コード）の管理と配布
- 共通アクセスツールの企画
- FCFの広報と流通推進
- FCF利用によるサービスの拡大推進

Copyright (c)2018 一般社団法人FCF推進フォーラム, All rights reserved

FCF推進フォーラム 運営体制

FCF

一般社団法人FCF推進フォーラム

運営委員会

※K会員

委員長 ソニーイメージングプロダクツ＆ソリューションズ（株）※

副委員長 昌栄印刷(株)※
合同会社プロジェクトリンクス

委員 共同印刷(株)※ 大日本印刷(株)※ 凸版印刷(株)※ トッパン・フォームズ(株)※
マクセル(株)※ 富士フィルムイメージングシステムズ(株)※
(株)フォー セコム(株) (株)高見沢ソリューションズ ジーエルソリューションズ（株）
（株）日立情報通信エンジニアリング （財）日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）

事務局

フォーマット管理小委員会

各種ワーキンググループ（WG）

Copyright (c)2018 一般社団法人FCF推進フォーラム, All rights reserved

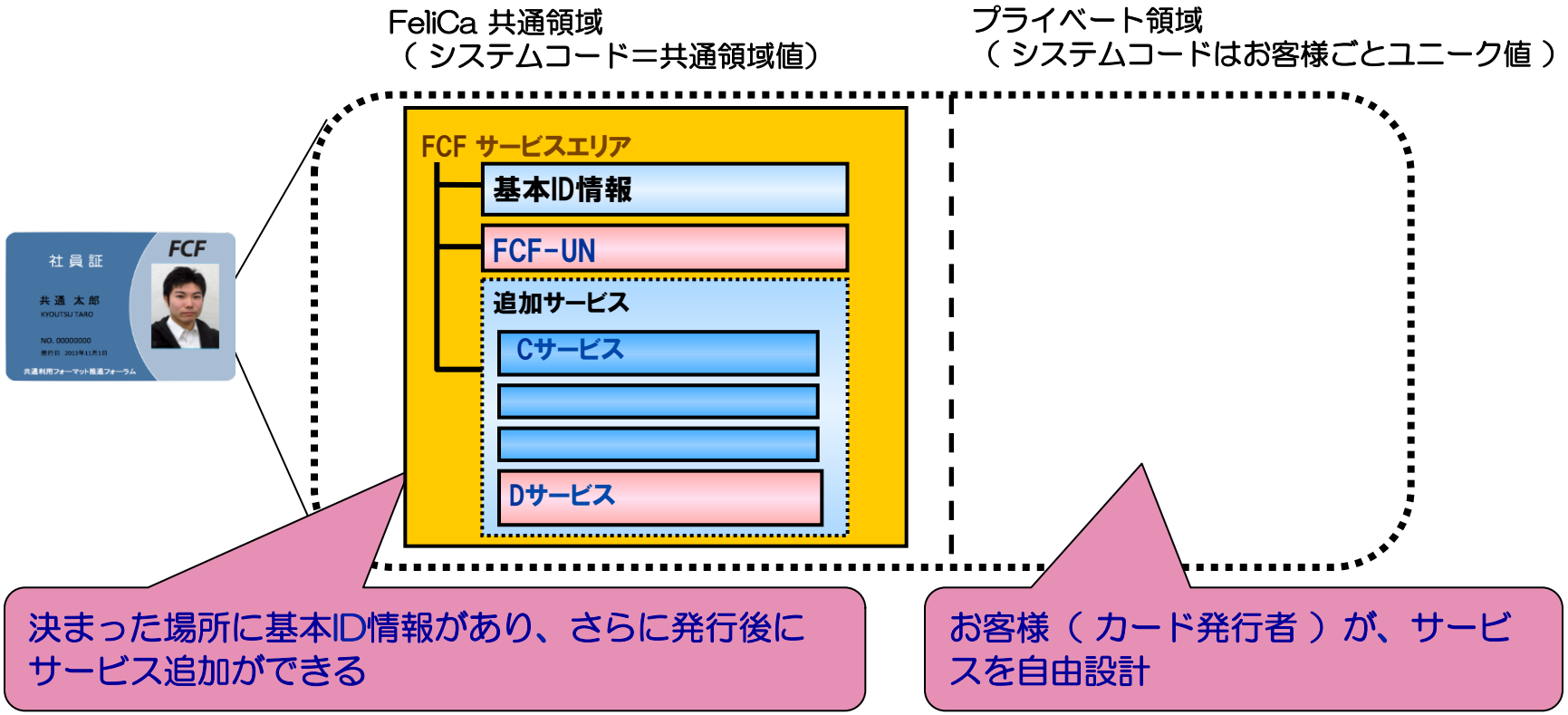
FCF（共通利用フォーマット）のイメージ

FCF

FeliCa共通領域内のエリアとして定義・登録したもの

① ID番号・氏名など基本ID情報の記載仕様を定義し、読み出しは鍵なしに設定

② 追加サービス用空きブロックを定義し、カード発行後でも他事業者が活用可能
（ カードオーナーであるお客様が活用を許諾する。）



現在提供しているフォーマット：　基本 / キャンパスカード / 自治体向け

Copyright (c)2018 一般社団法人FCF推進フォーラム, All rights reserved

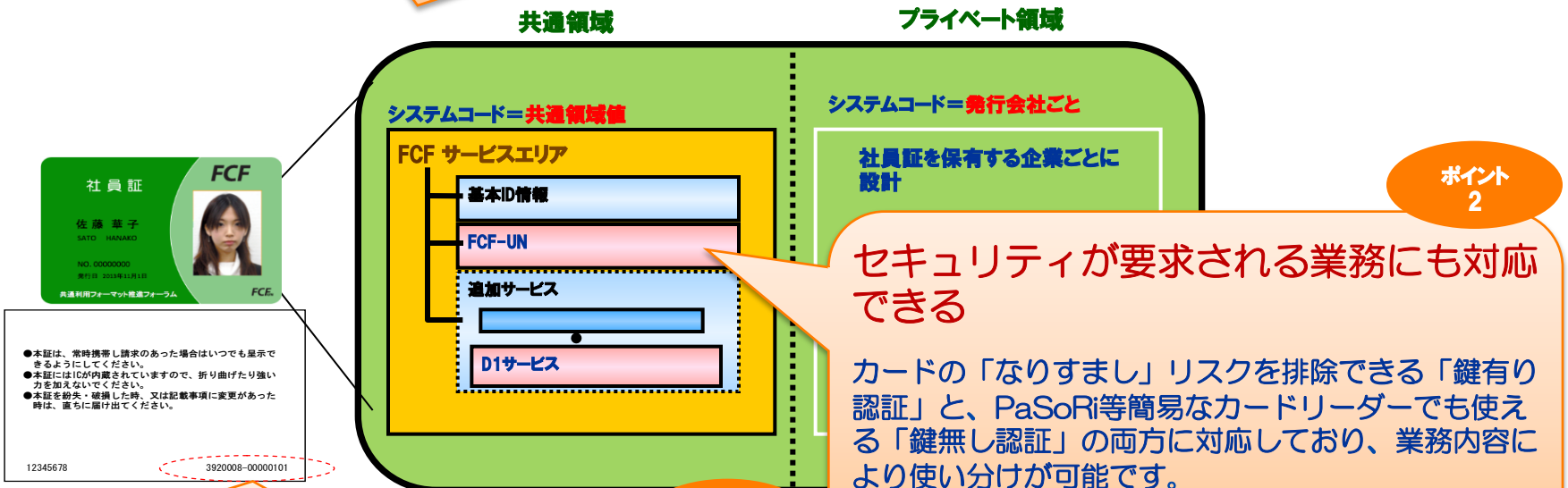
安心して使える IDカード専用フォーマット

統一フォーマット

ポイント 1

共通領域のフォーマットなので、システムコードとフォーマットが１種類に統一されます。プライベート領域のフォーマットを開示することなく、社外のシステムで社員証が利用できます。

FCF-UNロゴ



セキュリティが要求される業務にも対応できる

ポイント 2

カードの「なりすまし」リスクを排除できる「鍵有り認証」と、PaSoRi等簡易なカードリーダーでも使える「鍵無し認証」の両方に対応しており、業務内容により使い分けが可能です。

数字だけの情報なので管理が容易

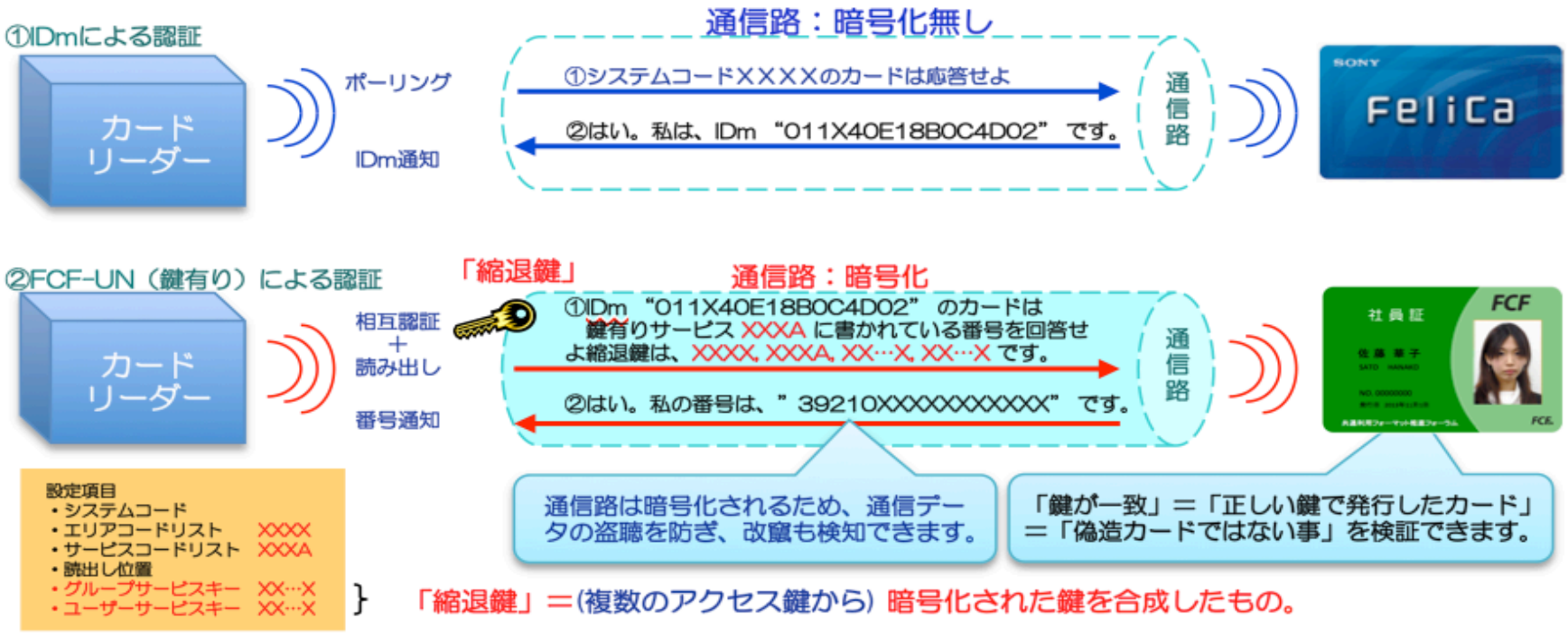
ポイント 3

16桁の固定長のユニーク番号をカード製造会社で書き込みます。ユニーク番号は、原則としてカードの裏面に印刷（刻印）もされるので、カードの管理も容易です。スペース上、印刷ができない場合は省略可能です。

Copyright (c)2018 一般社団法人FCF推進フォーラム, All rights reserved

IDm認証に変わる安心な認証機能の提供（FCF-UN）

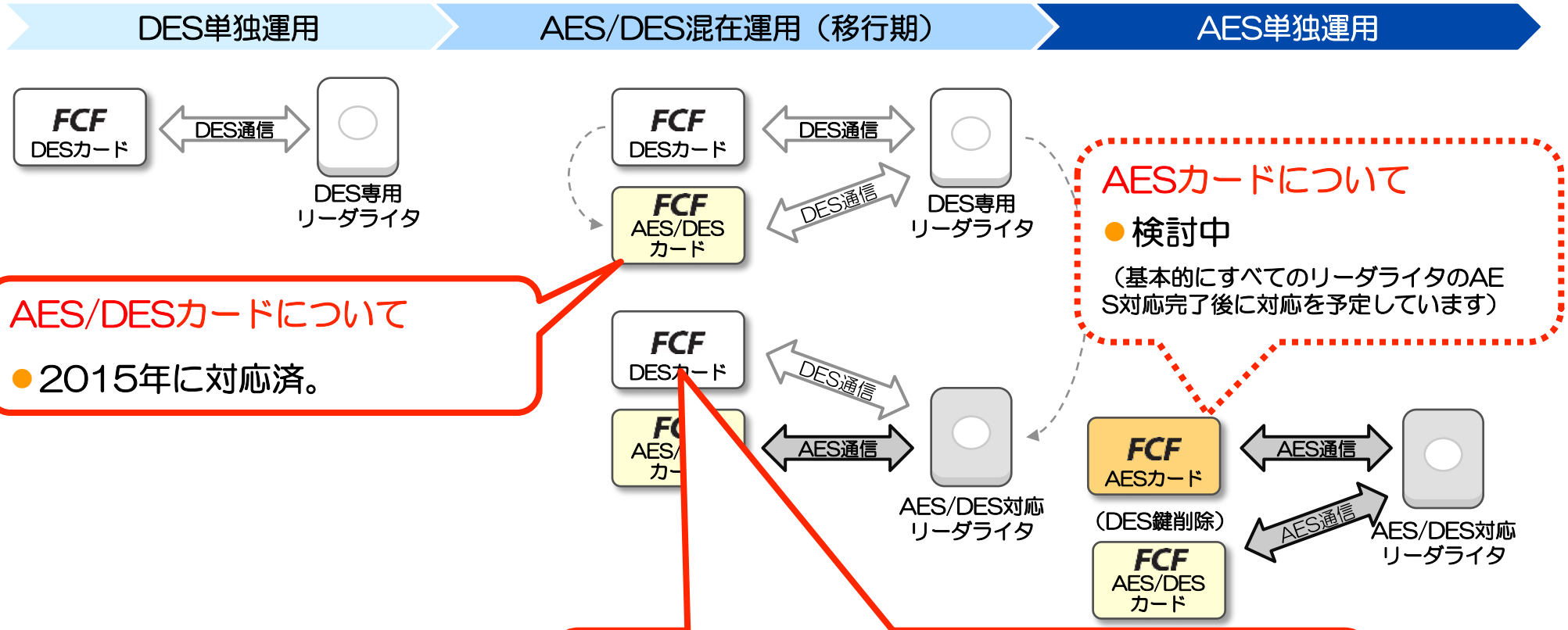
FCF-UNは、「鍵無し認証」の他に、FeliCaのセキュリティ機能を活かした「鍵有り認証」に対応しているので、セキュリティが要求される業務でも安心してご利用いただけます。



IDmだけを使った認証は、エミュレータ等による「なりすまし」のリスクがあるため、セキュリティが要求される業務（入退室管理等）では、「鍵有り認証」を利用していくことを推奨しています。

Copyright (c)2018 一般社団法人FCF推進フォーラム, All rights reserved

FCF推進フォーラムのAES対応方針



AESカードについて

- 検討中

（基本的にすべてのリーダライタのAES対応完了後に対応を予定しています）

AES/DESカードについて

- 2015年に対応済。

DESカードについて

- 従来のDESカード(※)も発行いただけるよう引き続き対応してまいります。

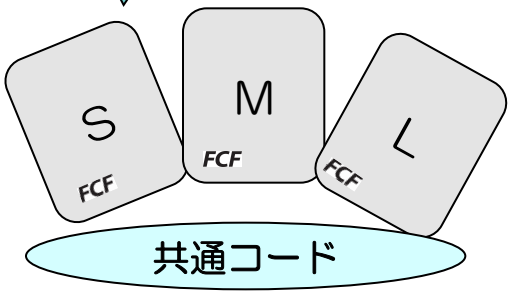
(※) 対応しているICチップ
RC-S915, RC-S952, RC-S960, RC-S962, RC-SA00, 等

Copyright (c)2018 一般社団法人FCF推進フォーラム, All rights reserved

FCF（共通利用フォーマット）の特長

FCF

①
発行が簡単
→　素早い導入が可能

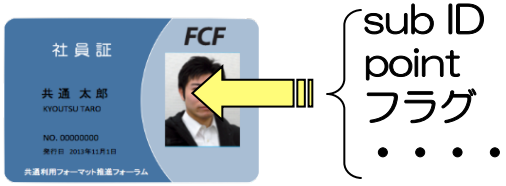


「レディメード」なので、各種申請・登録手続きが簡単で、フォーマット設計が容易です

②
ＦＣＦ共通のIDが使える
→ 相互利用が可能

ID情報（氏名・会社名・学校名・ID番号など）フォーマットが共通なので、様々なベンダーの新たなサービス（アプリ）に利用できます

③
新規サービス（ アプリ ）
の追加もできる



初期発行時に空きエリアを設定することで、発行後でも、サービス（ アプリ ）追加ができます

フォーラムに加入している150社以上のソリューションを発行後に利用可能

Copyright (c)2018 一般社団法人FCF推進フォーラム, All rights reserved

サービス（アプリ）の追加　補足説明

【初年度】
初期導入アプリ
（FCF対応アプリ＋別アプリ）

【2年目】
FCF対応アプリの追加

【３年目以降】
さらに
FCF対応アプリの追加

カードはそのまま

カードはそのまま

入退室管理

FCF
対応

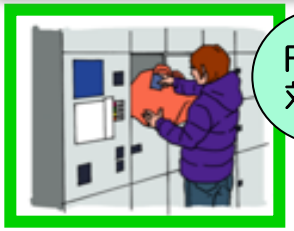
勤怠・出欠席自動管理

FCF
対応

印刷・コピー制限

FCF
対応

電子錠ロッカー



FCF
対応

証明書発行（大学）

FCF
対応

Web管理

FCF
対応

施設利用管理

FCF
対応

FCF搭載カードで約３００の追加サービスを利用可能
http://www.fcf.jp/
※2018年3月現在

Copyright (c)2018 一般社団法人FCF推進フォーラム, All rights reserved

ＦＣＦキャンパスカード

- FCFキャンパスカードは、学生証・教職員証など教育機関での個人認証ＩＤカードとするための仕様で、企業向けを主とした一般のFCFフォーマットに加え以下の特長を持っています。
  - 【身分識別コード】を持っている
    - IDカードとして学生・教職員・卒業生等であることを識別できる
  - 【学校識別コード】を持っている
    - 何処の教育機関の学生・教職員であるかが識別できる

- これにより、教育機関での相互の利用（単位交換、施設共有等）を行えるプラットホームを提供します。また、IDカードを利用した認証機能、出欠席管理、施設管理など、さまざまなサービスを段階的に導入することが可能となります。

- さらに、民間企業による教育機関向けサービス（ショッピングでの学割サービス、ポイントサービス、施設や乗り物等での優待サービス等）の利用が可能になり、学生・教職員・卒業生に対するサービスを充実させることが可能になります。

Ver.2　　Ver.3

FCFキャンパスカード　ロゴ

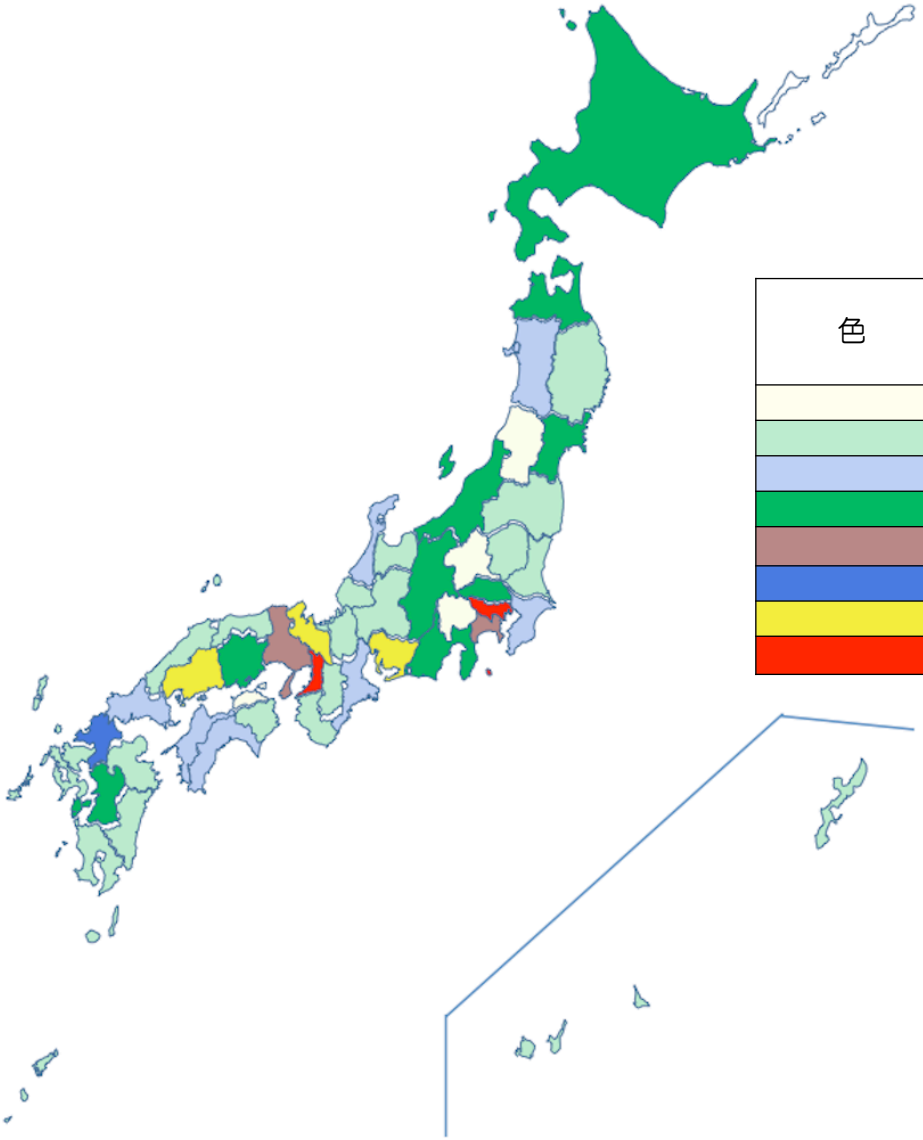
Copyright (c)2018 一般社団法人FCF推進フォーラム, All rights reserved

キャンパスカード全国導入状況

FCF

全国導入ユーザ数　３３３　（２０１８年４月現在）

０１	大学	221
０２	短期大学	26
０３	高等専門学校	2
０５	独立行政法人	1
１１	中等教育学校	0
１２	高等学校	17
１３	中学校	9
１４	小学校	4
１５	幼稚園保育園	1
２１	専修学校	15
２２	各種学校	4
３１	養護学校	0
３２	聾学校	0
３３	盲学校	0
５１	学校法人	31
５２	教育委員会	0
５３	教育関連団体	1
５４	教育事業者	0
５５	教育関連事業者	1



色	範囲	ユーザ数
	0	4
	1 ～ 2	19
	3 ～ 4	7
	5 ～ 9	9
	10 ～ 14	2
	15 ～ 19	1
	20 ～ 29	3
	30 ～	2

2018/05/30

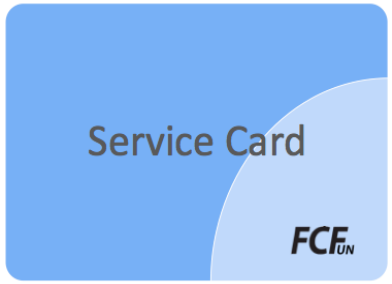
Copyright (c)2018 一般社団法人FCF推進フォーラム, All rights reserved

自治体向け共通利用フォーマット

自治体向け共通フォーマットは、市町村などの自治体が「職員」や「市民」等にさまざまなサービス利用のために発行しているIDカード（身分証や利用証等）のための共通フォーマットです。

自治体向け共通フォーマットには「何処の自治体が何のために発行した利用証か」が分かる情報の他にサービスを利用するために必要な区分情報を持っており、きめ細かなサービス提供ができるだけで無く、利用証相互での利用や自治体相互での利用ができるような情報の共通化がされています。
これにより自治体が提供するサービスだけでは無く地域企業が提供する様々なサービスを利用することも可能になり、市民の利便性も向上すると考えます。
また、地域企業のビジネスチャンスにもなり、地域経済の活性化にもつながると考えます。

FCF自治体向け
共通フォーマット



2017年５月
提供開始

- 利用者区分　（市民、職員。。等）
- 全国市町村コード
- サービスコード

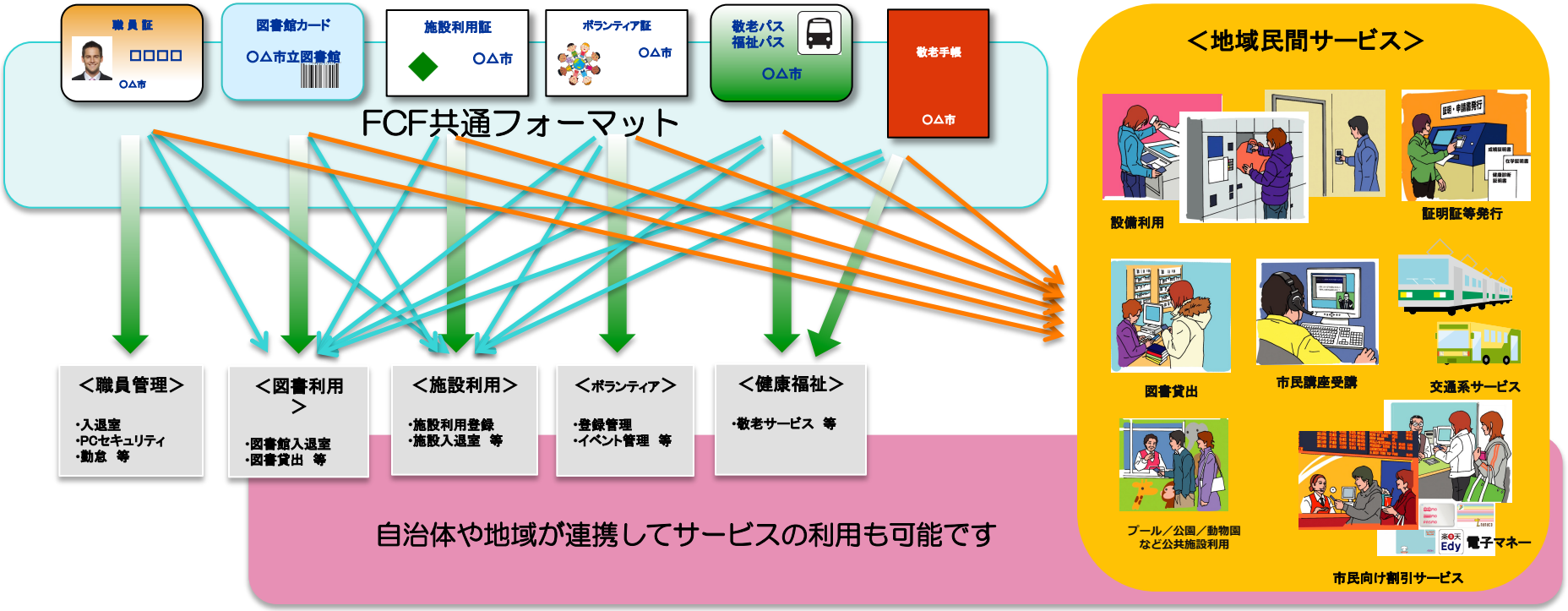
FCFカード（一般カード、キャンパスカード、自治体向けカード）は全てかざすだけで「どこの」「誰が」「何のために」利用するIDカードなのかがわかる共通フォーマットです。企業、教育機関、自治体などIDカードを必要とする環境のフラットフォームを共有することができます。

Copyright (c)2018 一般社団法人FCF推進フォーラム, All rights reserved

自治体向け共通利用フォーマット

従来のサービス利用証の形態はそのままで！

従来のサービス利用証の形態はそのままで情報の共通化をすることで、例えば「図書館カード」を持っていれば、図書館で本を借りるだけで無くプールなどのスポーツ施設なども利用できたり、「敬老パス」や「福祉パス」など交通利用パスで図書館で本を借りたりスポーツ施設を利用できたり、自治体が発行する市民サービス利用証のどれか１枚さえあれば、自治体が提供する全てのサービスを利用者の状況に応じて利用することが可能になり、市民の利便性が向上すると考えます。
また、統一した利用状況の収集の自動化なども可能となり、より良いサービス環境構築に役立ちます。



Copyright (c)2018 一般社団法人FCF推進フォーラム, All rights reserved

FCF 導入状況

FCF

2018年3月31日現在
（発行予定含む）

◆導入数：

企業、自治体　　104企業
大学等教育機関　　333機関

◆発行枚数：　初期発行分のみカウント

企業、自治体　　約　134.0万枚
大学等教育機関　　約　107.3万枚
総数　約　241.3万枚

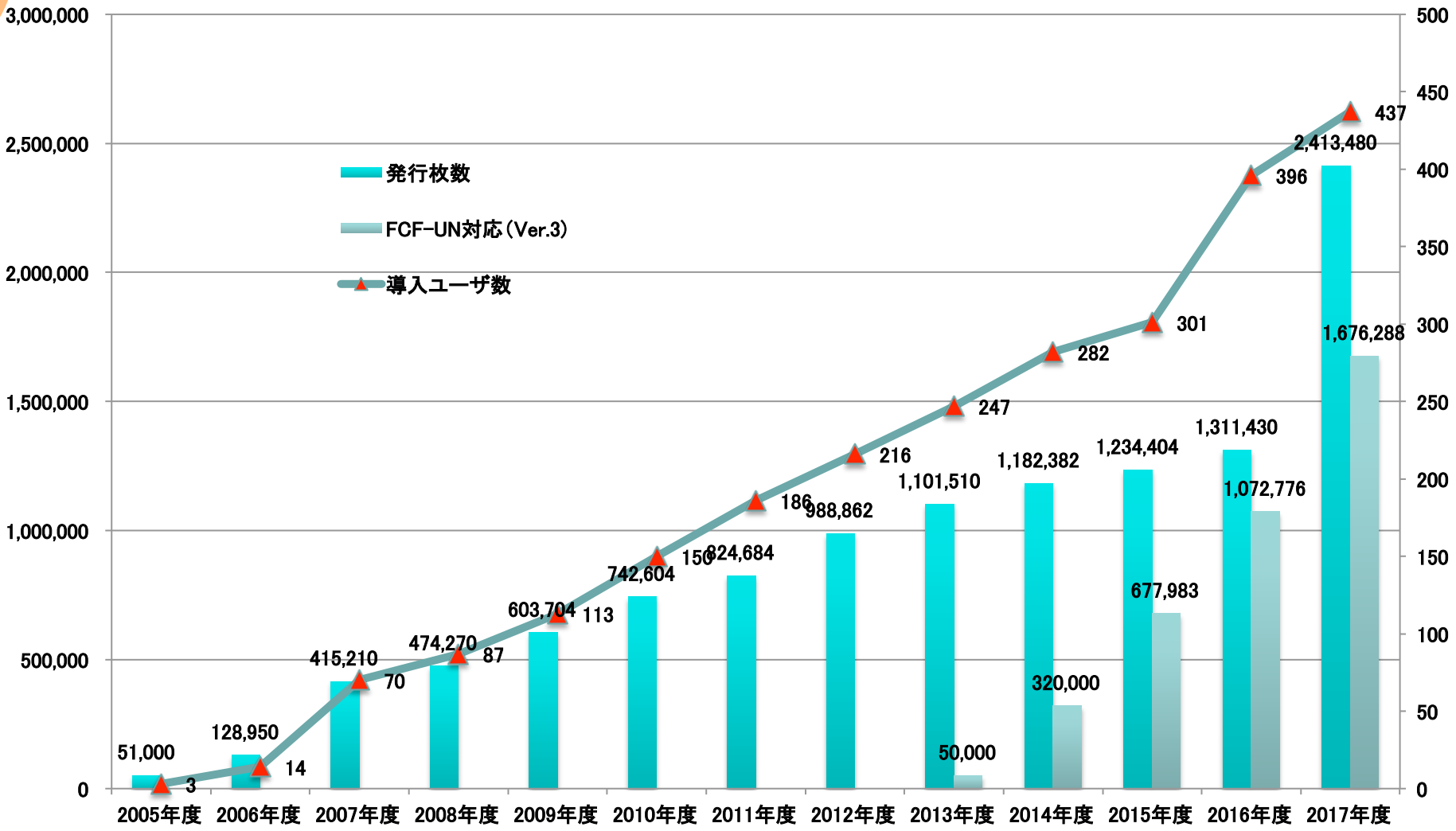
◆FCF-UN対応カード（Ver.3）の発行枚数167.6万枚（2018年3月現在）

教育機関で毎年追加発行されるカードも含めると400万枚を超える発行枚数があると推定される

Copyright (c)2018 一般社団法人FCF推進フォーラム, All rights reserved

導入ユーザ数と発券枚数

FCF



Copyright (c)2018 一般社団法人FCF推進フォーラム, All rights reserved

FCFのさらなる展開

FCF

○ IDカードでの顧客サービスの拡充

- FCFのIDカードを持っている社員、職員、教員、学生、地域住民など身元が明確な人達に対するサービスの提供
  - 生活に便利なサービスの提供を考え、IDカード保有者への利便性を向上させる
- 企業の集客や顧客獲得手段としてのIDカードの活用を考える
  - 全国に250万人以上のFCFカード保有者を活用したビジネスの展開

○ 分野に特化したIDカードの共通フォーマット化の検討

- 医療機関向け職員証、患者向け医療受診カードの検討
  - 医療機関での医師連携、 個人病院間での患者情報の共有ができる情報共有のためのフォーマット

○ NFCへの対応

- NFC基盤を利用した新たな ICカードへの共通フォーマット検討

Copyright (c)2018 一般社団法人FCF推進フォーラム, All rights reserved

広げようFCFの輪！

一般社団法人FCF推進フォーラム
Felicitous Common use Format promotion forum

Copyright (c)2018 一般社団法人FCF推進フォーラム, All rights reserved